

開催日時：2024年11月15日（金）
15:00～16:00
開催場所：エフコープ生活協同組合
本部事務棟会議室／zoom

講演会

「企業価値を高める事業継続とは！？」
～BCPをビジネススキルに～」
講師：株式会社かんがえる防災
代表取締役 高木 敏行 氏



講師：株式会社かんがえる防災 代表取締役 高木 敏行 氏
管理士(自然災害)。

消防士として11年9カ月勤務し、防災減災を社会のあたり前にし、被災後も安定した生活を継続できる社会にしたいこの思いを胸に起業。企業理念に「Mission:防災・減災を社会のあたり前にする」「Vision:被災後も安定した生活が継続できる社会をつくる」「Policy:考えることで、気づき、気づかせ、行動に移す」を掲げ、活動している。防災士/防災危機管理者/危機管理士(自然災害)。

地震や水害など災害がない年はない現代。災害が多い日本において、生活者として企業人として持っておきたい「視点」や「知識」を知る講演会を実施しました。講師に株式会社かんがえる防災の高木敏行氏を招き、BCPの基本から実例までをお話いただきました。

協議会では事前に会員アンケートを取り、BCPに対する理解度を聞きました。その中には「考えてはいるが不十分ではないかと思う」「理解しているつもり」「だいたい理解している」「理解しているが、予定通りに避難できるかは不安(ビルが古いため)」といったさまざまな声がありました。講演会最後にはアンケートで聞いていた「高木社長に聞きたいこと」について、丁寧に答えいただきました。



BCPとは「人」・「モノ」・「金」・「情報」を守り、リスクが発生しても事業を継続するための方法論で、業種に応じて対策が変わるといいます。また、企業に応じて中核事業が変わり、必要な対策が変わるのだとも。今回BCPに関わるお話を伺って、自社のBCP対策は自社だけでなく取引先や関係企業にも関わる問題であるだけでなく、対策によっては社会価値向上×業績のアップにつなげることができるという気づきを得ました。

〈参加者の声〉

- ・BCPマニュアルはあるものの、災害発生した場合の想定は弱い部分があると感じました。何ができて何ができないかを把握し、特別な対策や一部のスタッフで検討するものではなく、日常の中で対応できる事柄を増やし、協力者や理解者を増やしていくことが大切だと考えさせられました。
(エフコープ生活協同組合 総務部総務課 西村 健一)
- ・防災士として、防災について真摯に向き合う社長の言葉に迫力がありました。BCPが新設された年になりますので、“社員の安全”を確保できる工夫を考えてみたいです。
(コープライフサービス 総務部総務課 木下 祐輔)